

## 研究会活動報告

### 地域経済研究会

2017 年 4 月 29 日 (土)

『入門 現代日本の経済政策』書評会

報告者：阿知羅 隆雄 氏 (滋賀大学名誉教授)

徳永 昌弘 氏 (関西大学商学部)

只友 景士 氏 (龍谷大学政策学部)

司会：渡邊 英俊 氏 (島根大学)

2017 年 7 月 9 日 (日)

○吉原 清嗣 氏 (京都大学大学院経済学研究科博士  
後期課程)

「地域金融力の数値化

——金融機関の生産物評価——」

○池島 祥文 氏 (横浜国立大学)

「エビデンスベースドアプローチによる地域経済  
研究の探究」

2017 年 11 月 4 日 (土)

○小川 尚紀 氏 (京都大学大学院経済学研究科博士  
後期課程)

「中山間地域における茶業産地の変容過程と  
要因分析——岐阜県における美濃いび茶産地  
の事例から——」

○ジョン・ランビーノ 氏 (京都橘大学現代ビジネス  
学部)

「フィリピン経済の地域内再投資力の一考察  
——中書不企業と大企業の比較分析を  
中心に——」

2018 年 1 月 20 日 (土)

○大賀 健介 氏 (京都大学経済学部)

「瀬戸内海沿岸地域における開発事業の展開  
——香川県丸亀市の事例を中心に——」

○白石 智宙 氏 (京都大学大学院経済学研究科博士  
前期課程)

「農山村における地域内経済循環の理論と実際  
——岡山県西粟倉村を事例に——」

---

---

## 会員業績紹介 (2016 年 12 月 1 日～2017 年 12 月 31 日)

関根 佳恵 (愛知学院大学)

### 【著書】

「世界における農業女性の今」日本婦人団体連合会  
編『女性白書 2017—女性の権利と社会保障—世  
界と日本』ほるぷ出版、2017 年、82-84 ページ。

### 【論文】

「農産物・食品の地理的表示制度の意義と役割」『農  
村と都市をむすぶ』第 67 巻第 9 号、2017 年、  
26-34 ページ [招待有]。

“Resistance to and in the Neoliberal Agri-Food Regime:  
A Case of Natural Bananas Trade between the  
Philippines and Japan.” *The Journal of the Research  
Institute of Business*, 55(3): 15-33. March 2017.

### 【書評】

桂瑛一編著『青果物のマーケティング—農協と卸  
売業のための理論と戦略—』昭和堂、2014 年。『農  
業市場研究』第 25 巻第 3 号、2016 年、60-61 ペー  
ジ。

### 【研究発表】

「座長解題：農山村移住と農のある暮らしを考える  
in 奥三河」農業・農協問題研究所、同東海支部、  
実行委員会共催フォーラム「農山村移住と農のある  
暮らしを考える in 奥三河」愛知県新城市、新  
城文化会館、2017 年 11 月 18 日。

“Néolibéralisation de la politique agroalimentaire  
au Japon et contradictions des modèles agricoles”  
Article présenté au colloque international FORMAT/  
Métaprogramme GioFoodS sur Coexistence des